

鳥取県・島根県初！ 第4種踏切における『踏切ゲート-Lite』を導入します

中国統括本部では、リスクの高い第4種踏切の安全対策として、踏切ゲートの設置を進めてきました。このたび、更なる安全性向上を図るため、鳥取県と島根県では初めて『踏切ゲート-Lite』を導入します。

1. 踏切ゲート-Lite のねらい

歩行者等が通行する踏切に対象を限定することで、通行者が扱いやすくかつ、施工もしやすいゲートとしながらも、踏切ゲートと同じレベルで通行者に一時停止・左右確認を促すことができます。

※歩行者等：歩行者および自転車、二輪車

2. 踏切ゲート-Lite の主な特徴

〈常時遮断式〉 通行者の踏切横断時のみ開閉

〈半自動式〉 遮断桿の操作後は自動的に元位置に戻る（自閉）

〈通行方法〉 踏切進入時には垂直方向に持ち上げて通行

踏切退出時には水平方向に押しして通行

または垂直方向に持ち上げて通行

〈設置位置・形状〉 踏切一旦停止線付近に設置

【設置イメージ図】



3. 導入箇所

2024年3月中旬に、以下の踏切に導入します。

(1) 山陰線 泊（とまり）駅～松崎（まつぎき）駅間 **下山踏切**

住所：鳥取県東伯郡湯梨浜町北福

※泊駅から約2.5km松崎駅寄り

(2) 木次線 下久野（しもくの）駅～出雲八代（いずもやしろ）駅間 **宮の下踏切**

住所：島根県雲南市大東町下久野662-3先

※下久野駅から約0.2km出雲八代駅寄り

4. 今後の導入計画（鳥取県・島根県内）

2024年度中に、約10箇所に「踏切ゲート-Lite」を導入する予定です。

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に8番、9番、11番、に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

